平成 30 年度天白区区政運営方針（案） に対する意見の内容及び区の考え方

平成 30 年度天白区区政運営方針を策定するに当たり、案に対する貴重なご意見をいただきありがとうございました。いただきましたご意見の概要と、それに対する区の考え方を公表します。

1 実施期間

平成 30 年 2 月 5 日（月）～2 月 23 日（金）

天白区役所ウェブサイト及び天白区役所にて募集

2 提出状況

意見提出者数 4 名

意見件数 5 件

3 意見の概要及び区の考え方

Ⅲ めざすまちの姿「魅力に満ちた愛着のもてるまち」

【項目】 1 町を美しくする活動の推進
【意見】 毎日使う生活道路がきれいだと感じるので自分のアパート、マンションの前のゴミや雑草を積極的に掃除しようということをポスターなどでPRする。
【考え方】 身近なところでの日常的な清掃活動は、快適なまちづくりの基本をなすものであり、「町を美しくする運動」を通じて啓発に努めているところです。今後も地域と連携して、町の美化活動へのご協力を呼びかけてまいります。

【項目】 1 町を美しくする活動の推進
【意見】 天白区民の住環境向上のため、住民のモラルの向上の働きかけをお願い。啓発活動は折に触れて実施されているが、効果が上がっているようには思えない。犬のふんの問題、ゴミの回収前の鳥によるゴミの散らかり、私たち住民が一斉に心がければ環境は向上すると思われる。 そのため、住民のモラルの向上と方法を広報して、賛同者を多くしてさらなる発展がみられる天白区としたい。

【考え方】

ゴミ出しのルールやマナーにつきましては、転入時にガイドブックを渡す等広く行き渡るよう広報や啓発を行っているところです。犬のフンの始末につきましては、飼い主に対して啓発を行うとともに、犬のフン放置防止ステッカー、看板の設置、チラシの配布等迷惑行為の防止対策を行っています。清潔で住みよいまちづくりのために、モラル向上の呼びかけを続けてまいります。

【項目】 2 ペットと暮らすきれいなまちづくり活動

【意見】

〈ペットとの楽しい生活のために〉

愛犬家のためのマナーアップを継続的に住民の方々にアピールしていただけたら良い。犬だけではなく、野良猫のエサやり、避妊去勢についても区民全体で考えていただけたら、ペットも幸せになると思う。

【考え方】

狂犬病予防集合注射会場などでの啓発、保健センターが作成したチラシによる町内回覧など、継続的に住民の方に愛犬家のマナーアップをアピールしているところでございます。

飼主のいない猫については、町内会議などの機会において「なごやかキャット事業」を保健センターから説明するなど、地域の皆様に飼主のいない猫の管理についてご理解、ご協力をお願いしてまいります。

【項目】 2 ペットと暮らすきれいなまちづくり活動

【意見】

保健所や動物病院に犬のフンの始末をちゃんとしようというチラシを置いてもらう。

有志グループで犬を散歩させながら、チラシを配りながら、定期的に道端などのフンを始末する運動はどうか。

【考え方】

保健センターでは、犬のフン放置防止のステッカー、看板、チラシなどを準備して、市民からの相談苦情に対応しております。

犬のフン放置防止の啓発は、保健環境委員会と共同でキャンペーンを実施しているところでございますが、今後は、有志グループなど広くご協力いただける啓発方法を検討してまいります。

その他

【項目】 その他
【意見】 サッと目を通させていただきましたが、本当に幅広い分野で様々な啓蒙活動を行っていることに驚いております。ただこれらが多くの区民の役に立っている（活用されている）のか疑問に思います。最近政府は働き方改革とか生産性向上と旗振りをしていますが、この為にはコストベネフィットを重視し、無駄とは言いませんが、効率の悪い活動は止めて、限りのある資源を重点的に配分する時代になってきたのではと感じました。
【考え方】 平成 29 年度の天白区区民会議分科会におきまして、参加者の皆様に区の課題や区のあるべき姿について意見交換や発表をしていただきました。今後は、そのご意見を参考に中長期的な目標やそれを実現するための施策等を掲げた「区の将来ビジョン」を策定し、平成 32 年度から実施する予定です。 重点的に取組むべき施策等についても検討を進めてまいります。費用対効果や区の抱える課題について検討を重ねながら「区の将来ビジョン」を策定してまいりたいと存じます。